

# ミズカマキリ

*Ranatra chinensis*

タイコウチ科

## 名前の由来

カマキリに似ていて水中に生息するためである。  
漢字名：水鎌切



ミズカマキリ（成虫）

## 形態的特徴

**成虫の特徴：**体長40～50mm。体は棒状で、頭の幅が前胸前縁（首のあたり）よりはっきりと広い。腹の先には体長程度の長さの呼吸管がついている。

**類似種：**ヒメミズカマキリ。

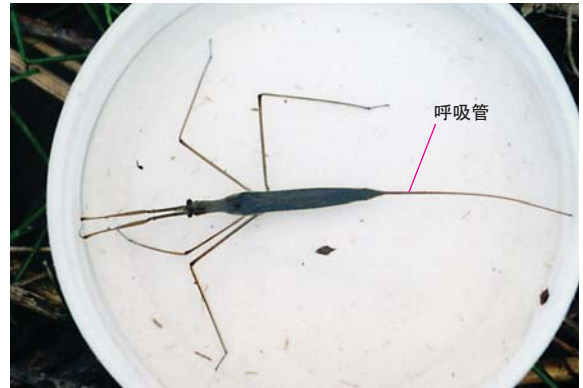
ヒメミズカマキリは小型で呼吸管も体長より短い。

## 生息環境・分布

平地や丘陵の池沼に生息する。

**分布：**国外分布は、ロシア極東部、朝鮮半島、台湾、中国等。国内分布は、北海道～沖縄。北海道内では、普通に分布。

十勝地方では、普通に分布。



ミズカマキリ（成虫）。呼吸管の長さが体長と同じ程度ある

## 食性・他の生物との関わり

他の昆虫・オタマジャクシ・小魚の体液を吸汁する。

## 繁殖生態・寿命

陸上水際部に呼吸管のある卵を産む。

## 興味深い話

- 飛翔して移動できるが、飛翔前には体を乾かす。
- カマキリの仲間ではなく、カメムシの仲間である。
- 前肢の節が長く、陸上昆虫のカマキリのように小動物を捕らえる。水草などに中肢と後肢でつかまり、前肢をカマのように構えて獲物を待ち伏せするという。



ミズカマキリ（成虫）。前肢の節が長い

## 配慮事項

植生・水棲動物豊かな水辺環境が必要。

## 生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
卵期・幼虫期												
成虫期												

## 参考文献

「日本産水生昆虫検索図説」川合禎次 東海大学出版会 1995  
「原色日本昆虫図鑑（下）」伊藤修四郎・奥谷禎一・日浦勇 保育社 1993  
「名前といわれ昆虫図鑑」大谷剛・栗林慧 偕成社 1999

「滋賀の水生昆虫・図解ハンドブック」谷田一三・竹門康弘 監修 滋賀県小中学校教育研究会理科部会 編 新学社 1991  
「水辺の昆虫」今森光彦 山と溪谷社 2000

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類  
ワシ・タカ